



ドセタキセルの  
治療を受ける患者さんへ

# がんとは

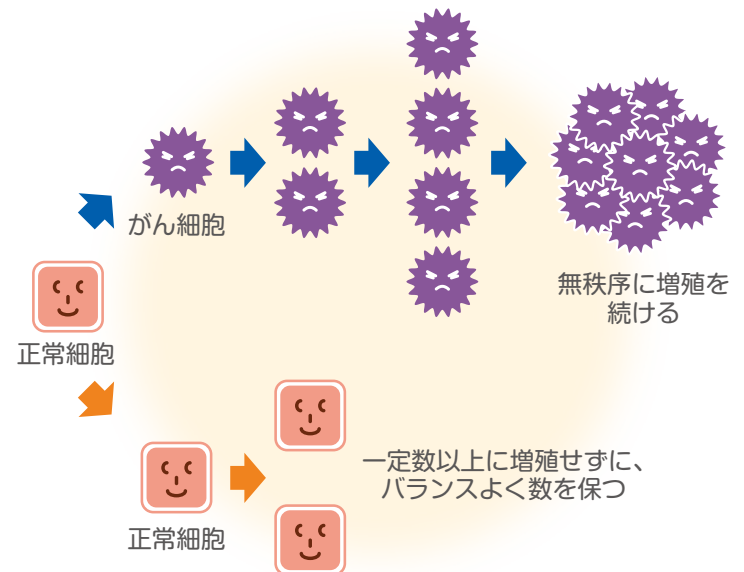
監修 草津総合病院 乳腺外科 部長 木下 一夫

## Contents

がんとは	3
抗がん剤とは	4
ドセタキセルについて	5
外来化学療法とは	6
薬の投与を受ける前の注意点	7
投与中に注意すること	8
副作用について	9
ドセタキセルで起こりやすい副作用	10
●吐き気／嘔吐／食欲不振	10
●感染症	10
●下痢	11
●手足のしびれ	11
●むくみ	12
●脱毛	12
●口内炎	13
●爪の変形・変色／皮膚炎	13
●味覚の変化	14
●涙目	14
●関節痛・筋肉痛	15
●間質性肺炎（肺の機能の低下）	15
治療日誌	16
ドセタキセルを使う主な抗がん剤併用療法	22

私たちの体は、多くの細胞からできています。正常な細胞は、体の状態に合わせて分裂・増殖・死滅を繰り返し、バランスよく数を保っています。しかし、何らかの原因で正常な細胞が変異し、無秩序に増殖を続けてしまうことがあります。このような異常な細胞を「がん細胞」といいます。そして、がん細胞のかたまりを「がん」または「悪性腫瘍」といいます。

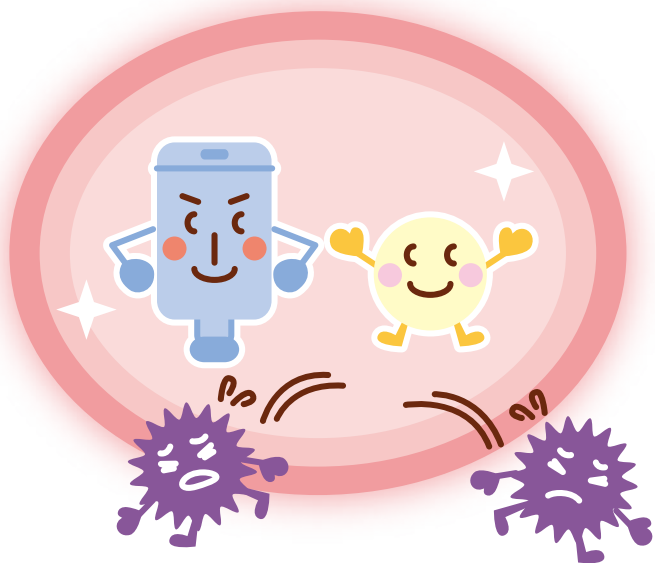
がんが進行すると、周りの正常な臓器を壊しながら増殖を続けたり（浸潤）、血液などを介して他の臓器に移動して、そこで新しく増殖したりします（転移）。



## 抗がん剤とは

抗がん剤は、点滴や飲み薬として体内に入った後、血液によって全身をめぐる、全身のがん細胞を死滅させたり、増殖を抑えたりする働きのある薬です。抗がん剤による治療を「化学療法」といいます。

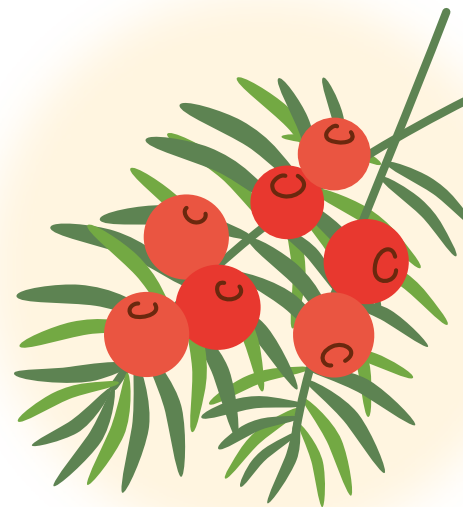
抗がん剤には、たくさんの種類がありますが、がんの種類によって効果のある抗がん剤は異なります。また、がんの種類によっては、複数の抗がん剤を組み合わせた治療（多剤併用療法）が効果的な場合もあります。



## ドセタキセルについて

ドセタキセルは抗がん剤の1つで、ヨーロッパイチの針葉に含まれる成分を原料にして作られます。イチは日本にも自生しており、別名「アララギ」とも呼ばれています。

この薬は、1時間以上かけて点滴静注により投与します。詳しい治療スケジュールは、患者さんによって異なりますので、主治医、薬剤師にお尋ねください。



## 外来化学療法とは

従来、抗がん剤治療は長期の入院が必要でしたが、治療の進歩により、最近では、外来通院で治療を受けられる「外来化学療法」が増えてきています。

外来化学療法では、点滴を受けるときや、治療経過を診察するときに通院するので、これまでの生活を大きく変えずに治療を受けることができます。一方で、副作用の基本的な管理などは、主治医、看護師、薬剤師の指導を受けて、患者さんご自身で行う必要があります。

外来化学療法を受けられるかどうかは様々な状況によりまでするので、詳しくは主治医にお尋ねください。



## 薬の投与を受ける前の注意点

点滴を受ける前に下記の項目を確認し、該当する場合は医療スタッフに知らせてください。

- 風邪をひいている、風邪気味である
- 熱がある
- 食品や薬にアレルギーがある
- 妊娠している、または妊娠している可能性がある
- 授乳中である
- 過去に肺の病気を指摘されたことがある
- 過去に肝臓の病気を指摘されたことがある
- 過去に腎臓の病気を指摘されたことがある
- むくみ(浮腫)がある
- 薬(市販薬を含む)、健康食品、サプリメントを服用している
- アルコールに過敏である

**ドセタキセルの点滴には  
アルコールが含まれています。**

この点滴にはアルコールが含まれていますので、点滴当日は、**ご自身で運転する車での来院はお控えください。**また、**アルコールに過敏な方、お酒が弱い方は、あらかじめ医療スタッフにお知らせください。**

## 投与中に注意すること

点滴中には下記の2つの項目に注意して、何か異常を感じたら、**我慢せずにすぐに医療スタッフに知らせてください。**

- 点滴針を刺している部位の周辺に腫れ・痛み・違和感がある
- 点滴の落ちる速度が遅くなった

点滴液が血管の外に漏れている可能性があり、潰瘍などの原因となることがあります。

点滴開始から10分間は下記の症状に特に注意してください。

- 息苦しい
- 顔がほてる
- 体がかゆくなる
- ボーッとする
- 心臓がドキドキする
- 発疹がでる
- 冷や汗がでる

ドセタキセルに対してアレルギーを起こしている可能性があります。

※上記の症状は点滴終了後に起きることもあります。異常を感じたら、我慢せずにすぐに医療スタッフに知らせてください。

## 副作用について

ドセタキセルの点滴を受けると、気持ち悪い、だるいなどの自覚症状のある副作用や、血液検査などで分かる副作用が起こります。

いつ頃、どのような副作用が起こるかは、下記のようにある程度は分かっています。事前に起こりやすい副作用を知り、適切な対策を行うことで、症状を軽減することができます。

次のページからは、特に起こりやすい副作用について記載していますので、治療を受ける前に確認してください。

### 抗がん剤で起こる副作用と時期

自覚症状がある副作用			
アレルギー	吐き気 嘔吐 食欲不振	脱毛 下痢 手足のしびれ けん怠感 口内炎 味覚の変化 貧血 関節炎・筋肉痛	むくみ 涙目 爪の変化 皮膚の症状
投与 または点滴	当日	当日～ 数日	数日～ 数週間
			数週間～ 数ヵ月
検査でわかる副作用			
		感染症 骨髄抑制 (白血球減少、 好中球減少、 血小板減少)	

# ドセタキセルで起こりやすい副作用

## 吐き気／嘔吐／食欲不振

### 起こりやすい時期

点滴当日から数日間に、起こることがあります



### 症状

- 吐き気がする
- 吐く
- 食欲がない

- ・食べられるときに少量ずつ食べましょう
- ・甘いもの、油分の多いものは控えましょう

## 感染症

### 起こりやすい時期

点滴後数日から数週間、感染症にかかり易くなります



### 症状

- 感染すると、発熱、寒気、咳、のどの腫れ・痛みなどの症状が起こります

- ・手洗い・うがい・マスクなどの風邪対策をしましょう
- ・症状がみられましたらすぐに医療スタッフに伝えましょう
- ・熱が38℃以上出た場合はすぐに連絡してください

## 下痢

### 起こりやすい時期

点滴後数日から数週間に、起こることがあります



### 症状

- 軟便・水様便になる
- 排便の回数が増加する
- 腹痛がある

- ・こまめに水分を摂るなど、脱水症状に注意しましょう
- ・下痢が治まらない場合はすぐに連絡してください

## 手足のしびれ

### 起こりやすい時期

点滴後数日から数週間後に、起こり始め、点滴回数が多くなるにつれてひどくなる場合があります



転倒に注意

### 症状

手足が

- しびれる
- ちくちくする
- 感覚がにぶい

症状がみられましたら、医療スタッフに相談しましょう

# ドセタキセルで起こりやすい副作用

## むくみ

### 起こりやすい時期

点滴後数週間から数ヵ月後に、起こることがあります

### 症状

- 足、顔などがむくむ
- 体重が増える



- ・毎日体重を測定しましょう
- ・食事の塩分を控えるにしてください

## 脱毛

### 起こりやすい時期

点滴後数日から数週間後より抜け始めることがあります  
治療が終わると、数ヵ月後より少しずつ新しい毛が生え始めます

### 症状

- 毛髪が抜ける
- まつげや眉毛などの体毛が抜ける



治療前にかつら・帽子などを準備しましょう

## 口内炎

### 起こりやすい時期

点滴後数日から数週間に、起こることがあります

### 症状

- 痛い
- ただれる
- 出血する



こまめなうがいと  
優しく歯磨きをしましょう

## 爪の変形・変色／皮膚炎

### 起こりやすい時期

点滴後数日から数ヵ月後に、起こることがあります

### 症状

- 爪が
  - 黒色に変色する
  - 爪下に血マメができる
  - 割れる
- 手足の皮膚が
  - 赤くなる、厚くなる
  - ひび割れる



皮膚や爪を清潔にし、保湿を心がけましょう

# ドセタキセルで起こりやすい副作用

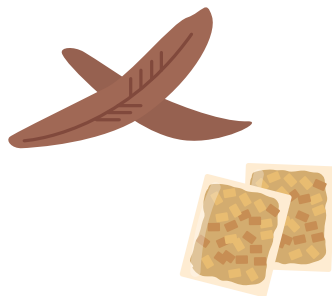
## 味覚の変化

### 起こりやすい時期

点滴後数日から数週間に、起こることがあります

### 症状

- 苦みを強く感じる
- 甘みを強く感じる
- 金属のような味がする
- 味を感じない



味つけを工夫しましょう

## 涙目

### 起こりやすい時期

点滴後数週間から数ヵ月後に起こることがあります

### 症状

- 涙が溜まりやすい
- 普段でも涙目になる
- 自然に涙が流れる



症状がみられましたら  
医療スタッフに相談しましょう

## 関節痛・筋肉痛

### 起こりやすい時期

点滴後翌日から数週間に、起こることがあります

### 症状

- 全身の筋肉痛、肘、膝などの大きな関節の痛み



入浴やマッサージで  
血行をよくしましょう

## 間質性肺炎(肺機能の低下)

### 起こりやすい時期

治療中は、つねに注意が必要です

### 症状

- 簡単な動作で息切れする
- 痰の出ない咳がでる
- 発熱



症状がみられましたら、  
すぐに医療スタッフに  
連絡・受診してください



# 治療日誌

治療中は、ご自身の体調を管理するとともに、主治医に体調をできるだけ正確に伝えることが大切です。治療中に感じた体調の変化や気になることを治療日誌に記入し、受診の際に主治医に見せてください。

## 記入例



通院日に○をつけてください。

当てはまる状態に  
✓を入れて  
ください。

症状あり：○  
強い症状あり：◎

治療開始日		3/17		
日付	3/17	3/18	3/19	
投与開始からの日数	1日目	2日目	3日目	
体温(℃)	36.3	36.4	36.3	
体重(kg)	52.0	51.5	51.3	
体調	通常	✓		
	悪い		✓	✓
食事の量	通常			
	半分くらい	✓		✓
	ほとんど食べられない		✓	
吐き気・嘔吐	○	○		
下痢				◎
手足のしびれ				
むくみ		○	○	
口内炎				
爪の変形・変色				
皮膚炎				
味覚の変化				
涙目				
関節痛・筋肉痛				
メモ (気になること、主治医に伝えたいことなど)	気分が悪く、あまり食べられなかった。			

治療開始日	/						
日付	/	/	/	/	/	/	/
投与開始からの日数	日目	日目	日目	日目	日目	日目	日目
体温(℃)							
体重(kg)							
体調	通常						
	悪い						
食事の量	通常						
	半分くらい						
	ほとんど食べられない						
吐き気・嘔吐							
下痢							
手足のしびれ							
むくみ							
口内炎							
爪の変形・変色							
皮膚炎							
味覚の変化							
涙目							
関節痛・筋肉痛							
メモ (気になること、主治医に伝えたいことなど)							

治療開始日		/					
日付		/	/	/	/	/	/
投与開始からの日数		日目	日目	日目	日目	日目	日目
体温(℃)							
体重(kg)							
体調	通常						
	悪い						
食事の量	通常						
	半分くらい						
	ほとんど食べられない						
吐き気・嘔吐							
下痢							
手足のしびれ							
むくみ							
口内炎							
爪の変形・変色							
皮膚炎							
味覚の変化							
涙目							
関節痛・筋肉痛							
メモ (気になること、 主治医に伝えたい ことなど)							

治療開始日		/					
日付		/	/	/	/	/	/
投与開始からの日数		日目	日目	日目	日目	日目	日目
体温(℃)							
体重(kg)							
体調	通常						
	悪い						
食事の量	通常						
	半分くらい						
	ほとんど食べられない						
吐き気・嘔吐							
下痢							
手足のしびれ							
むくみ							
口内炎							
爪の変形・変色							
皮膚炎							
味覚の変化							
涙目							
関節痛・筋肉痛							
メモ (気になること、 主治医に伝えたい ことなど)							

治療開始日		/ / / / / / /					
日付		/	/	/	/	/	/
投与開始からの日数		日目	日目	日目	日目	日目	日目
体温(℃)							
体重(kg)							
体調	通常						
	悪い						
食事の量	通常						
	半分くらい						
	ほとんど食べられない						
吐き気・嘔吐							
下痢							
手足のしびれ							
むくみ							
口内炎							
爪の変形・変色							
皮膚炎							
味覚の変化							
涙目							
関節痛・筋肉痛							
メモ (気になること、主治医に伝えたいことなど)							

治療開始日		/ / / / / / /					
日付		/	/	/	/	/	/
投与開始からの日数		日目	日目	日目	日目	日目	日目
体温(℃)							
体重(kg)							
体調	通常						
	悪い						
食事の量	通常						
	半分くらい						
	ほとんど食べられない						
吐き気・嘔吐							
下痢							
手足のしびれ							
むくみ							
口内炎							
爪の変形・変色							
皮膚炎							
味覚の変化							
涙目							
関節痛・筋肉痛							
メモ (気になること、主治医に伝えたいことなど)							

# ドセタキセルを使う主な抗がん剤併用療法

	治療法名(レジメン)	使用する抗がん剤
乳がん	TC療法	ドセタキセル シクロホスファミド
	THP療法	ドセタキセル トラスツズマブ ペルツズマブ
肺がん	DC療法	ドセタキセル シスプラチン
胃がん	S-1+DTX療法	S-1 ドセタキセル
	DCS療法	ドセタキセル シスプラチン S-1
卵巣がん	DC療法	ドセタキセル カルボプラチン
前立腺がん	DP療法	ドセタキセル プレドニゾロン
	DE療法	ドセタキセル エストラムスチン
食道がん	DCF (FDP) 療法	フルオロウラシル シスプラチン ドセタキセル
	NDP+DOC療法	ネダプラチン ドセタキセル

## 【参考】

日本臨床腫瘍薬学会 監修:改訂第3版 がん化学療法レジメンハンドブック, 羊土社, 2013  
 濱敏弘 監修: がん化学療法 レジメン管理マニュアル, 医学書院, 2012  
 坂田優 ほか 編集:別冊 臨床腫瘍プラクティスII 消化器がん化学療法レジメン, ヴァン メディカル,  
 2012

2014年4月現在

## 緊急の連絡先

病院・医院名

.....

電話番号

.....

担当医師名

科

.....

お問い合わせ窓口

.....

.....

memo

.....

.....

.....

.....

発行：2016年

監修：草津総合病院 乳腺外科 部長  
木下一夫

提供：東和薬品株式会社

本冊子の内容を許可なしに複製、複写(コピーなど)、  
 転載することは法律で認められた場合を除き禁じられ  
 ています。